

2019年度第7回霞ヶ浦自然観察会実施結果報告

「平地に咲く秋の花 小池城址を訪ねる」を実施しました。

日 時：2019年10月5日（土曜日）午前9時30分から午後3時まで

場 所：阿見町小池城址

参加者：26名

結 果： バスを降りて早速、福田先生を講師に観察が始まりました。まず黄色いタンポポに似た花を咲かせたブタナ、イネ科で面白い名前がついているネズミノオ、根が張っているのを抜くのに力があるチカラシバ、葉を引っ張ると矢羽状に葉が切れるヤハズソウ、紫の花を咲かせたキツネノマゴなどを次から次へと観察しました。参加者はヤハズソウの葉を引っ張り、切り取って面白がっていました。講師がゴンズイを紹介すると、参加者から「ゴンズイは魚にもいる。」との声があり、ゴンズイは役に立たない物を指していることが話されました。ゴンズイの実は赤く、黒い種がついているので、名前よりもきれいな実でした。たくさんの実をぶらさげたエゴノキがあり、実は有毒で実をつぶして川に入れると魚が浮くので、昔は魚捕りに利用していたことが話されました。葉上の真ん中に黒い物が付いている植物がありました。ハナイカダです。春に花が葉の上に咲き、今は実になって残っていました。カマツカという木もありました。幹が堅い木で、昔は鎌の柄に使ったことから、名前がつきました。最後にオケラという、虫と同じ名前がついていますが、名前よりきれいな花を見ました。

今回の観察会では、似ている植物がいくつかあり、その見分け方を講師から教えていただきました。

ノブドウとエビヅル

ノブドウは葉の裏が緑で、エビヅルは白い

サルトリイバラとシオデ

サルトリイバラの茎には鋭い棘があり、シオデにはない。

クリとクヌギ

実を見れば一目瞭然であるが、葉が似ている。クリは葉のギザギザ（鋸歯）の先まで緑だが、クヌギの先端は茶色になっている。

イヌザンショウとサンショウ

枝にある棘がイヌザンショウは一つ一つだが、サンショウは2つずつ出ている。イヌザンショウの葉はあまり匂わない。

観察した植物：ヒメヤブラン、チヂミザサ、オニドコロ、シラヤマギク、シマスズメノヒエ、ヤマユリ、トネアザミ、セイタカアワダチソウ、ヒメジソ、カラムシ、ナキリスゲ、アキノエノコログサ、アキメヒシバ、オトコエシ、キンエノコロ、ミズヒキ、アキノタムラソウ、センダイタイゲキ、ツクバトリカブト、ムラサキシキブ、ノイバラ、サワフタギ、コナラ、ネムノキ、ガマズミ、トウゴクミツバツツジ、タラノキ、アケビ、シラカシ、マンリョウ、エノキ、クマヤナギ、ハナイカダ、ナワシロイチゴ、ツノハシバミ、マンリョウ、ミツバアケビ、オオハナワラビ、ゼンマイ、フユノハナワラビ、オオシロタケ、シロハツなど138種です。

次に観察会の様子を紹介します。



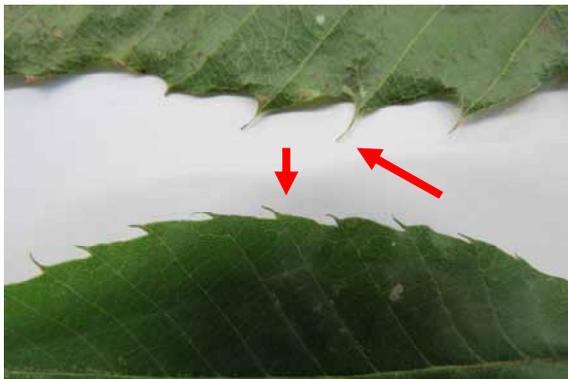
オケラ



ガマズミの実



ハナイカダの実



クヌギ（上）とクリ（下）の葉



ツクバトリカブト